

## 屋久島生態系モニタリング

### 屋久島南部の植生垂直分布調査 (平成20年度調査)

#### 標高200mフット(湯泊林道脇)の植生

標高200mフットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内(標高215m前後)に設定した。付近は小尾根と窪地(沢地形)を含む山腹である。フットの南側は林道の上側法面(切通し崖)であり、その林道の南側には水道施設がある。山腹下部の複合型緩急斜面で平均傾斜は30°、斜面方位は南向き。

[高木層] ヲノキ・ヒメスズリ・マヒナ・シ・クヌギ・スギ・ヤブモミ・イビク・モクバシなどの照葉樹に常緑針葉樹のササが混生し、イブキ・リ・アキなどの落葉広葉樹は、被圧枯死により消滅した。

[亜高木層] ヒメスズリ・イビク・モクバシ・ナスギ・ヤブモミ・マヒナ・シ・クヌギなどが混生する。また、被植率が低く、高木層との階層が比較的はっきりしている。

[低木層] モクバシ・ナスギ・ヤブモミ・シ・クヌギ・ヤブモミなどが続き、ハコも出現する。

[草本層] タマシ・ウツロが多い。被植率はヤクシカの食害により低下しつつある。

[群集および特徴的な出現樹種] ヲノキ・モクバシ群集。ヲノキはよく生育しているが、下層植生については北側の谷部と南側の尾根部とで出現する種の違いが大きい。高木層の樹冠はよく発達しているが、スギの大木がほとんどない林分である。

辺の念いれ登る年見査縄フのののタ  
 のー保林外さ外違山と九にごを文ア植取のの  
 樹全野れでい道と万登存実杉ゾ生組に久  
 木)利庁てのやのろ人山さのし望ン護とにお島  
 やに用でい植休大で前さのし望ン護とにお島  
 植お地はま息株す。後れとたデッ整備施設、平環  
 生け区、す。への道そ推方りこのキ事業整縄成二保全  
 のる(森のよ道そ推方りこのキ事業整縄成二保全  
 衰登バ林影るでの移はしこ文で耐(へ杉二二  
 退山ツ生響登はたてこ杉す。久及バ周  
 を道フ態が山め、てこ杉す。久及バ周  
 防周ア懸道すい数を調びツ辺

植生保護施設整備の状況



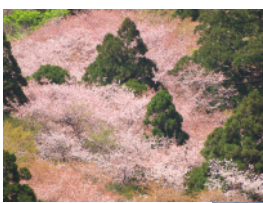
## 植生保護施設整備とデッキ調査結果

## 縄文杉周辺整備及び展望デッキの調査

五月一三日は、四月五日に引き続き、屋久島南部の植生垂直分布調査を実施しました。調査場所は、湯泊林道沿いの標高200mフットです。調査結果は、高木層にヤブモミ・イビク・モクバシ・ナスギ・ヤブモミなどが混生し、被植率が低く、高木層との階層が比較的はっきりしていることが確認されました。また、低木層にはモクバシ・ナスギ・ヤブモミなどが混生し、草本層にはタマシ・ウツロなどが生育しています。群集および特徴的な出現樹種として、ヲノキ・モクバシ群集が確認されました。ヲノキはよく生育していることが確認されました。下層植生については、北側の谷部と南側の尾根部とで出現する種の違いが大きいことが確認されました。高木層の樹冠はよく発達していることが確認されました。スギの大木がほとんどない林分であることが確認されました。

## 島の森と生きる

五月一三日は、四月五日に引き続き、屋久島南部の植生垂直分布調査を実施しました。調査場所は、湯泊林道沿いの標高200mフットです。調査結果は、高木層にヤブモミ・イビク・モクバシ・ナスギ・ヤブモミなどが混生し、被植率が低く、高木層との階層が比較的はっきりしていることが確認されました。また、低木層にはモクバシ・ナスギ・ヤブモミなどが混生し、草本層にはタマシ・ウツロなどが生育しています。群集および特徴的な出現樹種として、ヲノキ・モクバシ群集が確認されました。ヲノキはよく生育していることが確認されました。下層植生については、北側の谷部と南側の尾根部とで出現する種の違いが大きいことが確認されました。高木層の樹冠はよく発達していることが確認されました。スギの大木がほとんどない林分であることが確認されました。



今年、四月中旬の太鼓岩から見た景色です。

天然のスギとサクラのコントラストがとても美しく、暫し見入ってしまいます。皆さんも森の中を散策してみてください。



四月一三日(水)に、縄文杉展望デッキの整備工事を完了しました。整備内容は、デッキの床板を新しく張り替え、手すりを設置することです。また、デッキ周辺の植生保護施設を整備しました。整備後のデッキは、安全で快適に利用できるようになりました。また、整備作業に協力したボランティアの方々には、感謝の意を表します。

## 屋久島の植物



コンロンカ (アカネ科)



ペンキ塗り替え後の展望デッキ

四月一三日(水)に、縄文杉展望デッキの整備工事を完了しました。整備内容は、デッキの床板を新しく張り替え、手すりを設置することです。また、デッキ周辺の植生保護施設を整備しました。整備後のデッキは、安全で快適に利用できるようになりました。また、整備作業に協力したボランティアの方々には、感謝の意を表します。

## 縄文杉展望デッキの整備

屋久島南部の植生垂直分布調査の結果、高木層にヤブモミ・イビク・モクバシ・ナスギ・ヤブモミなどが混生し、被植率が低く、高木層との階層が比較的はっきりしていることが確認されました。また、低木層にはモクバシ・ナスギ・ヤブモミなどが混生し、草本層にはタマシ・ウツロなどが生育しています。群集および特徴的な出現樹種として、ヲノキ・モクバシ群集が確認されました。ヲノキはよく生育していることが確認されました。下層植生については、北側の谷部と南側の尾根部とで出現する種の違いが大きいことが確認されました。高木層の樹冠はよく発達していることが確認されました。スギの大木がほとんどない林分であることが確認されました。



# 屋久島森林環境保全センター 平成23年度業務予定

## 森林生態系保護

【22年度各事業実施状況写真】

### (1) 地域推進対策

- 旧天然生林管理水準確保緊急対策事業(GSS)
  - ア 森林保護員の雇用によるきめ細やかな保全管理等
  - イ 入込利用者への指導・啓発
- 旧森林生態系保護地域バッファゾーン整備事業
  - ア 翁杉説明板等周辺整備
  - イ 縄文杉旧道植生現況調査及び周辺整備
  - ウ 縄文杉保護施設総合整備の基礎調査



### (2) 保護林等整備・保全対策(旧世界自然遺産保全緊急対策事業及び保護林)

- ア ヤクスギ樹勢回復措置(縄文杉他著名杉)
- イ 生態系モニタリング調査(屋久島東部植生分布調査・局)
- ウ 外来種アブラギリ等のモニタリング(局)

ヤクスギ等樹勢回復措置



植生回復及び教育利用施設整備

### (3) モニタリング

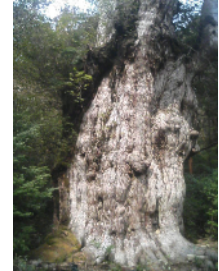
- ア 雨量等観測
- イ 写真映像による調査(環境省との共同調査について実施)

### (4) その他

- ア 森林生態系保護地域等の森林パトロールを実施
- イ 縄文杉Webカメラの管理(保守)



森林保護員による  
きめ細かなパトロール



縄文杉  
Webカメラ

## 治山事業

### (1) 谷止工 【2基】

渓床の縦横浸食を防止して、渓床の安定・山脚の固定・土砂流出防止・調整を図ることを目的としています。

### (2) 本数調整伐 【33.73ha】

適切な保安林の整備により、水源のかん養、災害の防止と軽減等に資することを目的とした保安林整備事業の一環です。



陸域の浸食の防止・固定を図る護岸工



渓岸の横浸食の防止を図る護岸工

## 普及教育及び森林空間総合利用等

- (1) 森林教育等の実施(他機関等の連携・協力)
- (2) 自然休養林内等での指導・パトロールの実施
- (3) 屋久島レクリエーションの森保護管理協議会等への助言・指導
- (4) シカ対策におけるシカ柵の保全管理等



ボランティア作業(ヤクネゴヨリ見本林・採種林の手入れ)

## その他

- (1) 関係機関との連絡調整
- (2) 学術調査研究等に係る入林手続きの接受及び指導等
- (3) 広報誌「洋上アルプス」の発行及び年報の作成
- (4) 資料等の整備・拡充



ボランティア作業(観察路整備)